

全米共和党顧問・あえは直道氏に聞く

幸福実現党広報本部長

影響を与える注目の戦いの結末は。全米共和党（RNC）の顧問として東アジアを担当する、あえは直道氏がインタビューに応じ、米大統領選の最新情勢や裏側にについて語り尽くした。

米大統領選は、民主党のオバマ大統領と共和党のロムニー候補が空前ともいえる大接戦を続けたまま、6日の投開票を迎える。世界の最高権力者が決まるだけでなく、同盟国である日本にも多大な



あえは・じきどう 1967年1月5日生まれ、横浜市出身の45歳。慶大法学部在学中は憲法学者の小林節教授のゼミナール委員。幸福実現党初代党首などを経て、現在は同党広報本部長。

日本の重要性を米国に印象づけるのが自分の仕事

「米国のパイプになる必要を感じ、渡米しました」
共和党顧問に就いた
「昨年12月、共和党全国委員会の執行部から打診され、アジア人として初めて」

実績に疑問符がついたオバマ政権の4年間

「ツテはあったのか」「いえ、ゼロからのスタートでした。ワシントンで、共和党系列の団体である全米税制改革協議会（ATR）の定例会集に昨年の2月から出席していたところ、3・11の東日本大震災が起きました。米国で日本への関心が高まる中、被災地における米軍のトモダチ作戦に対し、日本からはまだ」

中国への牽制には「強いアメリカ」の共和党で

「弱者に優しい政策を掲げる民主党のオバマ氏と、経済成長と『強いアメリカ』を掲げる共和党のロムニー氏の戦いは、世論調査で拮抗し、一部メディアは投票結果でロムニー氏優勢となる可能性を報じています」

激戦!!11・6米大統領選の舞台裏

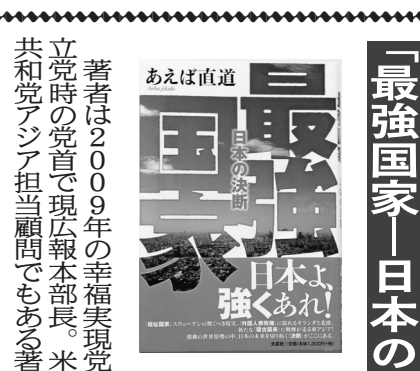
「各陣営の戦略は」「ロムニー陣営は企業経営者として大成を収め、かつマサチューセッツ州知事として州を黒字化した実績」

ロムニー陣営の戦略とは

「米国の政治文化は」「とにかく政治が国民生活に、がっちり食い込んで」

中国にとって
共和党は嫌
中国が、日本固有の領土である沖縄県・尖閣諸島の強奪を狙い、周辺の海に公船を航行させている。米国は尖閣諸島を日米安全保障条約の適用範囲としているが、有事の際に参戦するかは議論が割れている。6日の大統領選結果が、尖閣問題を含めた日中の今後を左右するの。

日本は今こそ「真のサムライ国家」に生まれ変わるとき
「社会保険に公金を莫大に投入するオバマ政権が続けば、財政赤字を減らすために国防費の削減圧力に耐えられず、沖縄から米軍を撤退させることもありうる。そうすれば、中国は沖縄の領有を主張して攻めてくるでしょう。これを避けるには、共和党政権による米国経済の復活が絶対に必要です」



「最強国家―日本の決断」あえは直道著（文芸社）
著者は2009年の幸福実現党立党時の党首で現広報本部長。米共和党アジア担当顧問でもある著

「アエバー」とは「人に誤解されたり、嫌われたりしても、妥協せず、筋を通す人物」の意味。今こそ日本に「アエバーの男」が必要だ。その体現者があえは直道・幸福実現党広報本部長で大川隆法・幸福の科学グループ総裁が対談して、日本の進むべき道を示した。尖閣問題をめぐる反日デモ、中国公船による領海侵犯。韓国李明博大統領の竹島上陸。国難来たるの今こそ日本は自己主張しなければいけない。



「アエバーの男」とは「人に誤解されたり、嫌われたりしても、妥協せず、筋を通す人物」の意味。今こそ日本に「アエバーの男」が必要だ。その体現者があえは直道・幸福実現党広報本部長で大川隆法・幸福の科学グループ総裁が対談して、日本の進むべき道を示した。尖閣問題をめぐる反日デモ、中国公船による領海侵犯。韓国李明博大統領の竹島上陸。国難来たるの今こそ日本は自己主張しなければいけない。

あえは氏は、語学研修中のアメリカでいきなり共和党の集会で自己主張し、見識を認められアジア担当顧問に就任した。大川総裁は、その常識や慣習にとらわれず、あらゆる壁を突破する類まれな人間力の秘密に迫り、日本はその人間力を結集し「世界のリーダー」となれ！と結ぶ。肩のこらない語り口で、日本がもっとも苦手な外国との交渉やPR方法を示唆している。（定価1470円）